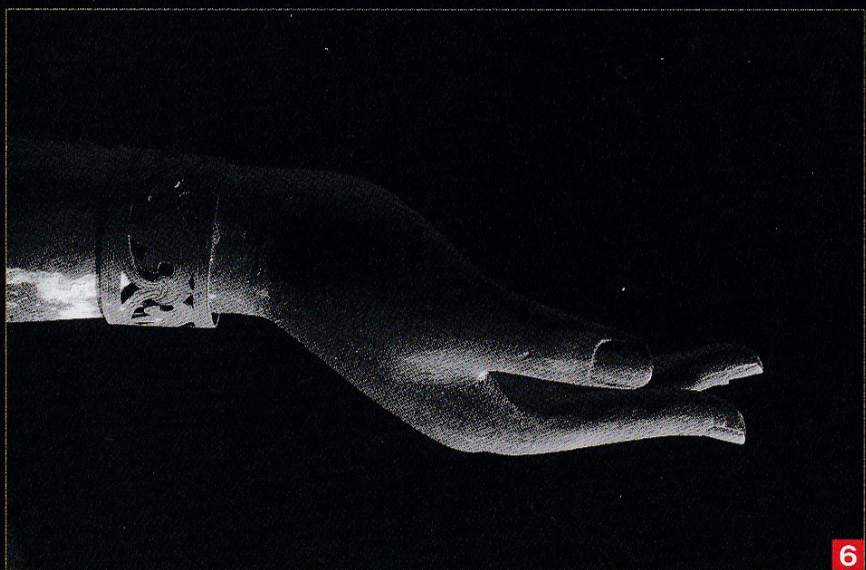
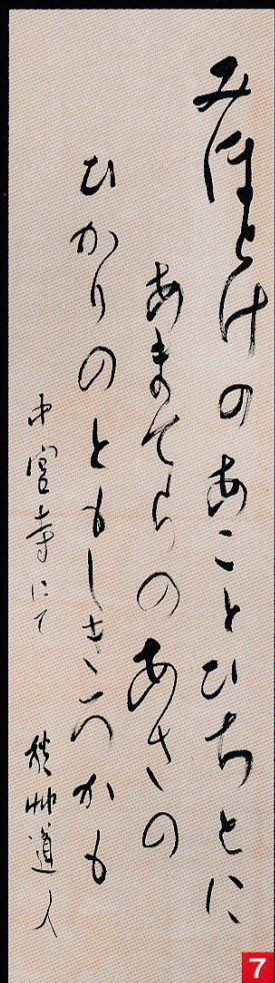
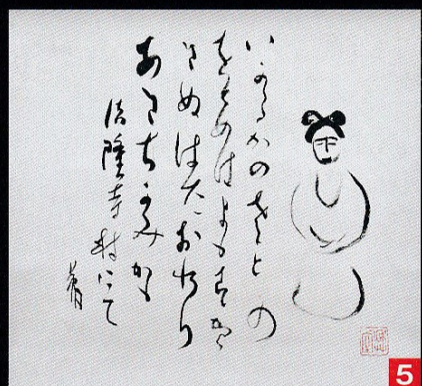
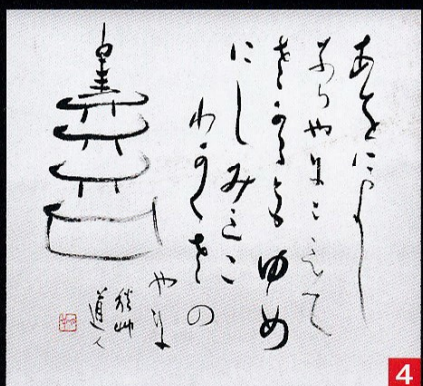




# 仏像の美

飛鳥園と會津八一



- 1 小川晴暘撮影《菩薩半跏像(伝如意輪観音)中宮寺》新潟市會津八一記念館蔵
- 2 小川光三撮影《観音菩薩立像(救世観音)法隆寺》飛鳥園蔵
- 3 會津八一書《飛鳥園》飛鳥園蔵
- 4 5 會津八一画書《百万塔図・あをによし、上代童子図・いかるがの》法隆寺蔵
- 6 小川晴暘撮影《観音菩薩立像(百済観音)御手 法隆寺》飛鳥園蔵
- 7 會津八一書《みほとけの》新潟市會津八一記念館蔵
- 8 「室生寺大観」(小川晴暘が撮影、會津八一が監修した写真集)新潟市會津八一記念館蔵



今から100年前、大正11(1922)年に會津八一(1881~1956)の強い勧めで、写真家・小川晴暘(1894~1960)は奈良市登大路に文化財写真の専門店、飛鳥園を創業しました。八一は、晴暘の撮影に同行して写真集を監修し、店の看板も八一が揮毫するなど、様々な協力を行っています。

八一が監修した晴暘の仏像写真には、大きく二つの新たな試みがありました。一つは、黒い背景によって仏像を浮かび上がらせる試みで、これは輸入された洋書のギリシャ・ローマの彫刻写真集を意識して制作したといえます。

もう一つは、細部の撮影です。仏像の美しさを強調するために手足や衣文などの細部に注目し、その構図と照明も工夫して撮影しています。

この黒い背景、細部を撮影した仏像写真は、飛鳥園の代名詞の一つとなり、晴暘は多くの名作を生み出しました。飛鳥園は、文化財を「記録」だけではなく、「鑑賞」いう新たな視点で、現在の文化財写真の新たな潮流を築き上げたといえるでしょう。

本展では、飛鳥園の仏像写真の逸品とともに、八一の歌書作品を紹介いたします。また、日本で最初の世界文化遺産に登録された法隆寺に遺る八一の作品など、奈良ゆかりの資料もあわせて展覧いたします。

## 関連イベント

※新型コロナウイルス感染症の影響により、会期、関連イベントなどが変更になる場合があります。  
※ご来館の際はマスクをご着用ください。

### 【記念講演会①】 事前申込制

#### 「法隆寺と會津八一」

【講師】 古谷正覚師(法隆寺管長)  
【日時】 10月3日(月) 14:00~15:30(予定)  
【会場】 日報ホール(新潟日報メディアシップ2F)  
【聴講料】 500円【定員】 120名

### 【記念講演会②】 事前申込制

#### 「仏像写真の話」

【講師】 金井杜道氏(写真家)  
【日時】 10月18日(火) 14:00~15:30(予定)  
【会場】 日報ホール(新潟日報メディアシップ2F)  
【聴講料】 500円【定員】 120名

※往復はがきに希望するイベント名、住所、氏名、電話番号を記入し、會津八一記念館までお送りください。定員に達し次第締め切ります。

## 野中吟雪館長による作品解説会

【日時】 11月6日(日) 14:00~  
【会場】 會津八一記念館 展示室

※作品解説会は事前の申込不要。ただし、特別展入場券は必要です。

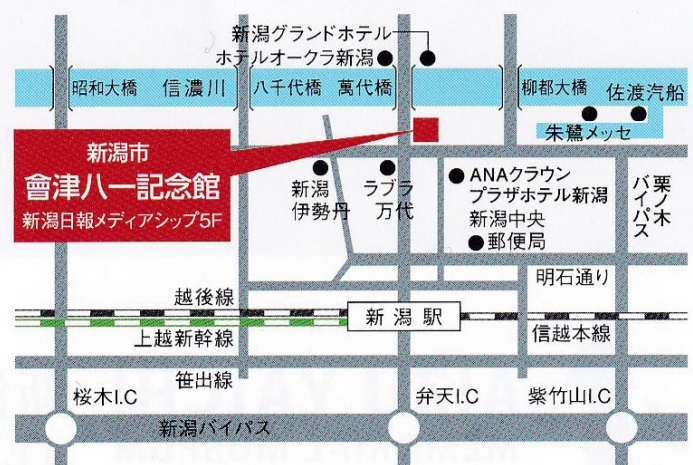
## 学芸員による作品解説会

【日時】 期間中の日曜日 11:00~  
【会場】 會津八一記念館 展示室

※作品解説会は事前の申込不要。ただし、特別展入場券は必要です。

## 期間中、本展覧会名を2人の書家による揮毫で展示室前に掲示しています。

- ▶ 10月4日~11月6日：相澤五峰先生(新潟県書道協会顧問)
- ▶ 11月8日~12月11日：中村城翠先生(新潟県書道協会顧問)



## 新潟市會津八一記念館

〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1  
新潟日報メディアシップ5F

TEL.025-282-7612 / FAX.025-282-7614  
Mail: info@aizuyaichi.or.jp

当館へはメディアシップのエレベーターをご利用ください。(階段はございません)

◎交通のご案内:新潟駅から バス約9分、タクシー約5分、徒歩約15分、新潟空港から タクシー約15分

◎駐車場のご案内:新潟日報メディアシップ駐車場(24時間営業) 第1駐車場は220円、第2駐車場は200円(第1、第2共に30分 税込)

※周辺には、万代シティ駐車場、朱鷺メッセ駐車場などもございます。



**AIZU YAICHI**  
MEMORIAL MUSEUM